



# 仙高の風

令和4年3月24日発行 第12号

「基金留学」  
本校独自の留学支援制度。渡航自費でブリティッシュヒルズ福島にて実施。



◆「第74回卒業式」挙行 穏やかな晴れ日となった3月1日、「卒業式」を挙行了しました。感染症予防のため、会場に入れる人数を限定しました。岩井誠校長からクラス代表の生徒一人一人に卒業証書を授与。厳粛な雰囲気の中にも華やかさが際立つすばらしい式となりました。校長は式辞で次のように述べました。◆七十四回生の皆さん、ご卒業おめでとございます。わたくしからは、卒業生諸君が、この仙台高校で育んだ「二つの力」について話すことで、はなむけの言葉にしたいと思えます。一つ目は、「試みながらやりとげる力」です。皆さんは、持ち前の明るさや素直な心、謙虚さ、柔軟な考え方といったものを、その場その場に適応する力や、新たな課題に対して粘り強く試行錯誤を繰り返す力に変えながら、多くの壁を乗り越えてきました。◆二つ目は、仙台高校で培った「強くしなやかなやさしさ」です。さらに磨きをかけて、これから生きる社会に思う存分還元してください。皆さんの持つ「強くしなやかなやさしさ」が必要とされるのです。自信を持って歩いてください。◆皆さんが仙台高校で育んだ二つの力と、校歌にもある「大鷲の高き誇り」を胸に、不確かだけど明るい未来へ力強く羽ばたいてください。これからも応援しています。(一部抜粋しました。)



式典ではPTA会長、和泉恭子様からお言葉をいただきました。「多くの制限下、諦めずに、新しい取り組みや創意工夫をして学校生活を楽しまうと常に前へ前へと進みました。特に研修旅行を実現できたことは楽しい思い出と共に沢山のことを学んだ大変貴重な経験となったことでしょう。皆さんのこれからの人生において心の強さ、自信、たくましさにつながると思っています。自信と誇りを持って新たな人生の第一歩を笑顔で踏み出してください。」



卒業証書を手し、保護者席を通り退場する7組の皆さん

式場を後にし、満面の笑顔/最後にクラス皆で1枚



式場を後にし、満面の笑顔/最後にクラス皆で1枚



### 「在校生代表の言葉」生徒会長佐藤秀昭さん

「試行錯誤しながら部活動や様々な行事を頑張っていた先輩方の姿は私たちの心に刻まれています。先輩から引き継いだ「自主自立の精神」を胸に仙台高校を引き継いでいきます。」

### 「卒業生代表の言葉」前生徒会長菊池真優花さん

「仙台高校の歴史と伝統のすばらしさを再確認し、たくさんの同窓生の皆さんに温かく見守られていることを実感しました。部活動では技術だけでなく礼儀の大切さも学びました。様々なことを教えてくださった先生方や先輩方、自分達に一生懸命ついてきてくれた後輩達、心身共に支え一番に応援して下さった保護者の方々から感謝しています。」



### ◆「同窓会入会式」を行いました。

3年次生は同窓会入会式に参加しました。同窓会長の加藤吉男様から歓迎の言葉を頂いた後、記念品が贈呈されました。新会員亀谷琉樹さんから入会にあたっての誓いを述べ、高74回生の新たな船出に向け頼もしい姿を見せてくれました。



### ◆「基金留学」、場所をブリティッシュヒルズに変更して実施しました。

3月6日、2泊3日に及びブリティッシュヒルズ(福島県)での語学研修を終えた仙高生12名が帰仙しました。全てが英国さながらの環境の中で、1日目は緊張気味でレッスン中も静かだった生徒達ですが、2日目からは、積極的に英語が飛び交うレッスンとなり、各自が自分の殻を少しずつ破り始めて飛躍的な成長ぶりでした。90分の英語レッスンが7つ以上ありましたが、驚くほどの集中力で臨み、終始本当に楽しそうでした。詳しい活動記録については、後日、仙台高校ホームページ『基金留学』で報告予定です。



◆「目を閉じ、あの日进行」 3.11の同時刻に『鎮魂の願い』を行いました。はじめに岩井校長から全校生徒へのメッセージがあり、その後、生徒代表として生徒会副会長の鈴木玲翔さん(1

年)が、「当時皆さんは何を思いましたか、11年の時が経った今、何を思いますか」と静かに問いかけながら、「私たちがすべきことは震災の経験を知らない世代に伝えることと災害に備えることです。」と語りかけました。続いて同じく副会長の山本伊織さん(2年)が、「皆さんはこの災害に対してどのような思いを抱いていますか」「ただ単に自分だけの中だけで忘れないようにするのではなく、この経験を未来世代へと語り継ぐことも私たちの使命です」と力強く述べました。2時46分、全校生徒で黙祷をし鎮魂を祈りました。☞仙台高校では震災以来、仙高祭(文化祭)での売上金の一部を毎年募金しています。今年も「東日本大震災義援金一政府窓口」を通じて被災地に届けました。



西武ドラフト2位の佐藤隼輔さん来校

仙台高校硬式野球部OBで筑波大学エースの佐藤隼輔(4年)さんがドラフトの結果報告のために来校しました。指名を待っていた時の気持ちや首都大野球最終戦に登板した時のお話(10奪三振完投勝利)など話題は尽きず楽しい時間となりました。



写真：岩井校長がグータッチで激励しました。佐藤隼輔さん(右)

◆1・2年次生、進路関係行事に参加 3月11日、2年次生が放送



による「進路ガイダンス」に参加しました。杉内浩幸進路指導部長から、直近で行われた模試の結果分析の他、「意識改革です。とにかく目標設定と振り返りが重要となります。」など学習の進め方や心



構えについて助言がありました。←真剣に話を聞く生徒諸君。

◆3月18日、「卒業生体験談・学問別進路ガイダンス」に参加しました。先日卒業したばかりの74回生6名が、後輩諸君へ向け進路

決定に関する体験を熱く語りました。受験方法(一般入試・総合型選抜など)に応じた対策の仕方や、普段の生活の中での取組など細部にわたり進路に関する情報共有をしていただきました。在校生は真剣に聞いている様子で、会の最後には質問も飛び交いさらに情報を引き出そうとする前向きな姿勢が印象的でした。また、同日、希望する分野(法学・医療・工学等)における進路ガイダンスに参加しました。学問系統毎に、受験対策・進学後その学問で学べるもの・大学卒業後の職業へのつながりなど、より進路へ対するイメージを具体化する機会となりました。



◆3月24日、「創立80周年記念事業クロージング・セレモニー」が行われました。 実行委員会から加藤吉男会長、和泉恭子副会長が参加されま



した。セレモニーでは、会長から「学校に記念品を贈呈することをもって事業の締めくくりとします。記念品として用意しました高性能プロジェクターを様々な場面で活用してください。」と述べられた後、生徒会



長の佐藤秀昭さんが学校を代表して受け取りました。記念品はハイスペックレーザープロジェクターと移動式台兼収納ボックスで、早速皆の前でお披露目され、広い第一体育館でもクリアでダイナミックな画像が映し出されました。これから生徒会行事や学校行事の際に活用させていただきます。ありがとうございます。



これで関連記念事業の一切が終了しました。引き続き、「休業式」を行いました。岩井校長の講話で、「再拡大防止期間となり、ようやく本格的に部活動が始まる。特に運動部の生徒は、6月の総体に向かって怪我や感染に注意しながら精力的に取り組もう。(中略)ロシアによるウクライナ侵攻から一ヶ月経つが、戦争はSDGsの掲げる目標と対極にある。探究でSDGsを学んだ皆だからこそやれることがあるはず。教育目標にある「地球規模の視野と社会の一員としての自覚」を持ってやれることを探してみよう。」と述べられました。続いて、生徒指導部から春休みに前にお話がありました。生徒部佐藤達哉教諭は「感染予防に一層努めよう、携帯電話を置いて大切なものに気付こう、打ち込めるものにとことん打ち込もう」とメッセージしました。この日は学年集会、大掃除、LHRが行われ、年度の活動を締めくくりました。

1・2年次生に聞きました。「今年度を振り返ってください！」

◆竹内峻さん(1年)高校に入学して立てた目標は? 「勉強と部活動を両立



させることです。概ね出来たと思います。」自身が成長したなあとと思うことは? 「先を見据えて計画を立てることが以前よりも上手くなりました。」来年度に向けての抱負は? 「評定の平均を高くすること、県大会でベスト8以上に入ることです。」◆橋詰咲希さん(2年)自身で立てた「時間を守る」という目標は、いかがでしたか? 「時間の使い方に悩まれた1年間でした。自分の能力に見合わない計画を立てて計画が崩れ、やるべきことをサボってしまったのが改善点。悩みながらも計画を立て直して実行できたところは良かったです。」成長したところは? 「昔は目標がなかったけれど今年は目標が出来て、目標達成までの過程をたくさん考えることが出来たこと。目標



がなければ努力も悩みも少ないと思います。本気で目標を達成したいという気持ちがあり、考え、悩みまくることが出来たのが成長だと思います。」

◆仙高校歌のお話 力強く堂々とした曲調の本校校歌。

作曲は有名な(故)海鋒義美先生です。その曾孫さんの、高橋陽太さん(1年)が本校に在学しています。創立80周年の節目に、海鋒先生を偲び、高橋さんからお話を聞きました。Q仙高校歌の作曲者だと知ったのはいつごろですか? 「入学するときでした。」Q宮城・東北の小中高などの校歌約400曲を作曲をされていますが何かエピソードはありますか? 「その地域に合った雰囲気曲を作っていたらしいです。」Q今年度、エレクトロンホールで盛大な式典を行いました。参加して何か思うことは? 「伝統ある学校に入学できてよかったです。そして、校歌を聞く度にひいおじちゃんの偉大さを感じました。」☞第74回卒業式では全員マスク着用による久しぶりの校歌斉唱でした。歌の3番に入った時、音響トラブルが発生してメロディーが聞こえなくなってしまいました。式場全員で最後まで歌い上げた無伴奏での校歌斉唱は感動でした。

